

北東北3県域 アパレル企業 ビジネスマッチングフォーラム

当センターではこの度、北東北3県のアパレル関連のものづくり企業の交流促進と、首都圏等発注企業との取引の活性化を図るため、標記フォーラムを開催することといたしました。

平成22年度から数えて4回目の開催となり、参加企業数も年々増加しております。自社をアピールする場として、本フォーラムへのご参加をぜひご検討願います。

- 開催日** 平成26年2月6日(木) 13:00~18:45(交流懇親会17:15~)
- 開催場所** 二戸パークホテル (岩手県二戸市福岡字八幡下69-1 ☎0195-23-5151)
- 参加対象** 岩手県、青森県、秋田県のアパレル関連のものづくり企業、首都圏等のアパレル製品製造の発注企業
- 開催内容** (1) 受注企業各社による自社紹介(各社1分程度)
(2) ビジネスマッチング(個別面談) ※事前に名簿を送付し、マッチング希望を確認します
(3) 交流懇親会(出席者全員にご参加をお願いします)
(4) 展示コーナー(北東北3県企業がサンプル等製品を展示するコーナーを設置)
- 参加料** 北東北3県企業=1名につき5,000円(当日申し受けます) **申込締切日** 平成26年1月10日(金)
首都圏発注企業=無料
- 主催** 岩手県北広域振興局、(公財)いわて産業振興センター
- 共催** 青森県、秋田県、(公財)21あおり産業総合支援センター、(公財)あきた企業活性化センター、三圏域連携懇談会(二戸市、久慈市、八戸市)、県北ものづくり産業ネットワーク、鹿角市、大館市(予定)
- お問い合わせ** (公財)いわて産業振興センター産業支援グループ(担当:高館) TEL:019-631-3823



平成25年度 いわて商談会を開催しました

去る11月21日(木)に北上市のホテルシティプラザ北上において、「平成25年度 いわて商談会」を開催いたしました。

「ものづくり企業」(casting, iron, machinery, sheet metal, press, resin, surface treatment, electronic devices, metal materials, etc.) の商談の場として、新規取引先開拓のきっかけを作っていただくことを目的に開催しているもので、今年で35回目となります。

昨年は盛岡市内で開催しましたが、今回はアンケートにより希望が多かった北上市内で開催し、当初、首都圏からの交通アクセスなどから発注企業の参加が減少するのではないかと心配しましたが、県内はもちろん、首都圏や愛知県、大阪府、三重県から、昨年を16社ほど上回る82社の発注企業が参加するなど本県のものづくり企業に対する関心の高さがうかがえました。

商談会に参加した受注企業は157社で、そのうち県内企業が103社。商談会は午後1時に開始し、1回15分、1社につき最大10回までの指名商談タイムを4時20分まで行い、その後、事前予約なしのフリー商談タイムを5時45分まで行いました。商談件数は延べ800回以上に及び、各社とも真剣に、熱心に商談を行っていました。

終了後には懇親会を開催し、会場内では名刺交換や情報交換が盛んに行われていました。

翌日の22日(金)は、(株)東北佐竹製作所様と谷村電気精機(株)様のご厚意により、工場見学会を開催し、発注企業の担当者23人が参加して、「岩手のものづくり」への理解を深めていただきました。

例年、いわて商談会では、多くの商談が成立しています。今回の商談会に参加して頂きました発注企業、受注企業の皆様へ感謝申し上げますとともに、商談等の進展をご期待いたします。今後も当センターでは、商談の場を設け、企業の皆様に支援してまいります。



JFW JAPAN CREATION 2014 アパレル総合展示会に出展しました

11月20日から21日まで東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催された「JFW JAPAN CREATION 2014」(主催:一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構)に、当センターで、岩手県共同出展ブースを設け、県北の事業者を中心に岩手県の縫製企業8社の出展支援を行いました。

本展示会は「Premium Textile Japan(テキスタイルの専門展示会)」と併設して行われ、縫製、織物、生地、皮革、服飾資材等、あらゆるジャンルのアパレル関連事業者が集う国内最大級のアパレル総合展示会として位置づけられています。会期中は2日間で国内外から20,000人超の関係者が来場し、大いに賑わいました。

当ブースにおいても、各社が縫製技術をPRするためのオリジナルのサンプル製品を展示しながら盛んに商談が行われ、岩手発の高い技術力と品質を来場者に向けて発信しました。また、国内縫製業界の空洞化が極まる中、このように産官一体となって販路開拓・情報発信に取り組む例は他には無く、業界紙に取り上げられるなど、大きな注目を集めることとなりました。

